

人間科学部

心理行動科学科

人間科学部での学び

人間の心を深く理解するには心そのものに注目だけでなく、心と密接につながる身体、そして心をもつ人同士のつながりが作り出す社会についても知る必要があります。近年の相次ぐ震災や豪雨災害のみならず、コロナ禍の長期化で心と身体の健康管理における心理学と行動科学の重要性が一層認識されるようになりました。本学部では、心理学の基礎・応用・臨床、そして関連領域であるスポーツ科学や社会学を総合的に学びます。

公認心理師試験の受験資格や教員免許(保健体育)も

本学部には公認心理師試験の受験資格取得に必要な科目が含まれています。※認定心理士、社会調査士のほか、保健体育の教諭一種免許状(中高)も取得可能です。

人間科学部をもっと知る



Admission Policy

入学者受け入れの方針
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
2. 人間科学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間の心と身体、社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
3. 高等学校における学習によって、人間科学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらに応用する力を有している。(知識・技能)

4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)

以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。

5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



人間科学部 心理行動科学科



Department of Psychology and Behavioral Sciences

理念・目標

人間生活の抱える種々の問題に現実的に対処すべく、人間を多角的・実証的に捉える力を備え、健康的な生のあり方を追求する人材を養成する。

心理学

心の仕組みや働き、健康について実証的に研究する学問。研究で得られた知見は、生活や社会的場面の現象を理解する際に役立ち、心理支援や心身の健康増進に活用されます。

スポーツ科学

運動・スポーツが心と身体の状態、そして社会全体にどのような変化をもたらすのかを学び、社会にある諸問題を解決できる能力を身につけます。

社会学

現代社会で生じるさまざまな問題が、なぜ・どのように生じるのかを解明するのが社会学です。個人の心理や行動と社会の結びつきを、調査とデータを踏まえて分析します。

専門分野

専門科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	心理学概論 臨床心理学概論 社会学概論 社会調査基礎論 健康と身体活動の基礎A・B			
研究方法科目	基礎統計学	心理学研究法 心理学統計学 社会調査法 社会統計学	多変量解析 運動学研究法 運動学統計学	
実験・実習科目		心理学実験 心理的アセスメント	社会調査実習A・B 運動学実験実習A・B	
演習科目	基礎演習A・B		演習A・B 特殊研究 文献講読A・B	卒業研究A・B
臨床		人体の構造と機能及び疾病 学校保健I 心理学的支援法	障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 福祉心理学 精神疾患とその治療	衛生公衆衛生学 学校保健II 学校安全及び緊急処置 心理行動科学特殊講義A
個人	スポーツ心理学I スポーツ生理学 運動方法学	知覚・認知心理学 学習・言語心理学 感情・人格心理学	発達心理学 スポーツ心理学II	神経・生理心理学 意思決定の科学 心理行動科学特殊講義B
社会	スポーツ社会学	社会・集団・家族心理学 教育・学校心理学 ジェンダーの社会学 現代社会と心理	産業・組織心理学 関係行政論 スポーツマネジメント	司法・犯罪心理学 不平等の社会学 家族社会学 心理行動科学特殊講義C

Topics

学科の特色1

各種資格取得をめざす
専門家として社会に貢献する人材を育成

「心理学」「スポーツ科学」「社会学」の3領域において、人間の思考と行動の関係性に科学的手法で迫ります。本学科では、公認心理師、中学校教諭一種免許状(保健体育)、認定心理士、社会調査士をめざすことができます。特に国家資格である公認心理師は、保健医療や福祉、教育、産業界など多くの分野で心理学の専門家として需要が高まっています。授業では、科学的手法により社会の現状やニーズを探る方法を学び、支援を必要とする人々をサポートするためのさまざまな手法を習得します。



Topics

学科の特色2

体験型の学びを含めたラーニング・パス
科学研究手法を効果的に習得

座学と体験型の学習を組み合わせ、実践的に知識を修得できるよう「段階的な学び」(ラーニング・パス)を設定しています。本学の学びはただ講義を聞くだけではありません。1年次では自ら手を動かして与えられた実験調査の課題に取り組み、2年次では体系的に科学的な実験調査を経験します。3年次には各ゼミナールで自分たちでテーマを決めて取り組み、4年次では自分の力でデータ収集から分析、発表までを行います。きめ細かなフィードバックを行い、学生同士の学び合いで考察を深め、人間の心理と社会を見る目を養います。



More Topics



学びたいことが見つかる魅力、身になる実感
人の心理・行動を紐解く学問がおもしろい

2年 白井華さん
(山形県/鶴岡南高等学校(現・致道館高等学校)出身)

中学・高校生時代には、気持ちが不安定になることがありました。でもスクールカウンセラーや保健室の先生など他の人に話を聞いてもらうと楽になれる、それはなぜだろうと考え、人の心を学びたくて志望しました。好きな授業は、カウンセリングや心理療法を詳しく学び、ロールプレイで実践も行う「臨床心理学概論」。自分のパーソナリティを測定し分析することもあり、自分を客観的に理解したり、行動の傾向が明らかになったりしておもしろいと感じました。高校時代と比べて、今の私は勉強に前向きです。理由は、学びたいことが見つかったから、そして「勉強した分だけ自分の身になる」ことを実感できたから。学びをあきらめず大学へ進学して良かったです。今は「公認心理師」の資格に興味があります。つらいときの私を救ってくれた人たちのように、将来、自分も誰かの役に立ちたいです。



NEXT

続きはこちら

